

令和5年度（2023年度）網走地域多職種連携チームの取組状況

1 チーム会議の開催

日時 令和5年9月12日（火）18:30～20:30

場所 北海道オホーツク合同庁舎3階講堂（集合開催）

参加者 33名

内容

意見交換及び検討

(1)地域及び各職域の現状と課題の共有

- ・人材不足の問題と取組状況について
- ・地域と医療機関の連携について
- ・大空町の一部住民がリハビリテーション等のサービスを受けられない現状について

(2)網走地域多職種連携チームの令和5年度活動計画について

2 チームの主な活動

(1)大空町介護・高齢者福祉ネットワーク会議

（北網保健医療福祉圏域連携推進会議在宅医療専門部会 網走地域多職種連携チーム会議における支援事業）

目的 大空町住民が安心して在宅療養・介護ができる

目標

- ・大空町のケアマネージャー及び地域包括支援センターの職員が大空町で介護を必要とする住民に関する課題を共有できる
- ・大空町の介護・高齢者福祉に携わる関係者同士がネットワークを形成し、課題解決に向けた取組について検討できる場を持てるよう支援する

日時 第1回 令和5年11月15日（水）14:00～15:30

第2回 令和5年12月12日（火）13:00～14:30

第3回 令和6年1月19日（金）14:00～15:30

第4回 令和6年2月26日（月）14:00～15:30

場所 大空町役場

参加者 9名

（大空町ケアマネージャー4名、大空町地域包括支援センター2名、多職種連携チーム3名）

内容 大空町の介護・高齢者福祉サービスに関する課題と要因、解決策について検討するための協議の場を設ける

評価 大空町、特に東藻琴地域において、介護を必要とする住民に対し、必要なサービスや医療が提供されていない現状があった。しかし、町の地域包括支援センターと在宅介護を担当する関係機関の間でこれらの課題を共有、解決への検討がなされる場がなかった。そこで、多職種連携チームが介入し、定期的に必要な関係者が集まり、在宅介護に関する課題を共有する場づくりの動機付けを行った。このことにより、協議の場の必要性について相互に理解を得ることができ、定期的な開催をすることとなり、一定の効果が得られた。

このことから、多職種連携チームによる支援は令和6年2月までで終了することとした。

3月からは大空町地域包括支援センターと大空町のケアマネージャーが定期的に協議の場を設けることとなった。また、必要時、医療機関や事業所等の在宅介護・高齢者福祉に関わる関係機関を参集し開催する方針とした。

(2)地域住民への普及啓発の推進

・「ACP（アドバンス・ケア・プラン）啓発パネル展」

目 的 住み慣れた地域で最期まで自分らしく生活できる地域を目指して、住民自らが人生の最終段階の医療やケアについて考える機会とする

期 間 令和5（2023年）11月16日（木）～11月24日（金）

場 所 オホーツク合同庁舎 1階ロビー

内 容 厚生労働省 啓発資材（ポスター、リーフレット等）の展示

(3)医療・介護関係者等の人材育成

・各市町及び関係機関が実施する研修会等への支援（周知協力等）

ア 網走地域タウンミーティング主催 「情報交換会」（3回）

イ 網走市ケアマネージャー連絡協議会主催 定例研修会「認知症研修会」（1回）

ウ 網走保健所主催「地域と精神科医療の多職種連携研修交流会」（1回）